

## 編集後記

2009年の夏は、エルニーニョ現象の影響で全国的に天候不順が続いています。北海道の夏はいつもそうですが、今年は普段にも増して短く感じられます。気がついてみると第49回日本核医学会学術総会の開催まであとわずかとなってしまいました。

当初設定した演題募集期間が終了した段階では演題数は例年よりも少なめでちょっと心配しましたが、募集期間を延長した結果、ほぼ例年通りの発表数を予定することができました。今回のテーマは「再発見と技術革新」です。PETに関する演題が増加傾向にあるのは最近のトレンドですが、脳・心臓をはじめとした臓器別、またデータ収集方法・解析手法別に多くの演題が集まりました。活発なディスカッションが展開されて、有意義で刺激的な3日間になるのではないかと期待しております。

旭川は札幌よりもさらに北に位置しているために気温はやや低めですが、この時期は紅葉の時期でもあり、少し足を伸ばしていただければ雄大な大自然を感じることができると思います。今や全国的に有名となった旭山動物園、4年前に開設された旭川市科学館、また男山酒造、高砂酒造などの酒蔵も会場から遠くありませんし、南に足を伸ばせば素晴らしい景色が堪能できる富良野・美瑛が、北に向かえば紅葉と温泉を楽しむことができる層雲峡に辿り着きます。学会で知的好奇心を満足させた後には旭川を楽しんでいただければ幸いです。

最後に今回の学会の開催にあたって、開催準備に協力していただいた諸先生方、突然のお願いにもかかわらず快諾をいただいた座長の先生方、様々な形で協力をいただいた各企業の方々はこの場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。

(沖崎 貴琢)

## 核医学編集委員会

委員長：松田博史（埼玉医科大学国際医療センター 核医学科）  
 副委員長：絹谷清剛（金沢大学大学院医学系研究科 バイオトレーサ診療学）  
 委員：石井一成（兵庫県立姫路循環器病センター 放射線科）  
 井上優介（東京大学医科学研究所附属病院 放射線科）  
 内山眞幸（東京慈恵会医科大学 放射線医学講座）  
 工藤崇（福井大学高エネルギー医学研究センター）  
 下瀬川恵久（大阪大学大学院医学系研究科 核医学講座）  
 立石宇貴秀（横浜市立大学大学院医学研究科 放射線医学）  
 張明栄（放射線医学総合研究所 分子認識研究グループ）  
 橋本順（東海大学医学部基盤診療学系 画像診断学）  
 長谷川智之（北里大学 医療衛生学部）  
 東達也（滋賀県立成人病センター研究所）

「核医学」第46巻3号 平成21年9月30日 発行 本号定価 ¥1,800

編集兼発行者 松田博史

〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-28-45 (社)日本アイソトープ協会本館3階

発行所 一般社団法人日本核医学会

振替口座 00180-5-741770 番

電話東京 (03) 3947-0976 FAX (03) 3947-2535

E-mail: anm@xvg.biglobe.ne.jp

ホームページ: <http://www.jsnm.org/>

印刷所 株式会社海川企画

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 2-51-1

電話 (03) 3806-0961(代) FAX (03) 3806-0848

広告申込所 〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-12-8 電話 (03) 5226-2791(代) 日本医学広告社